

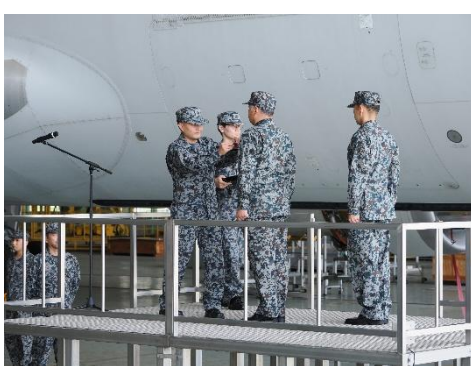


航空機整備き章授与式

5月15日(金)第1輸送航空隊整備補給群は、「航空整備き章」授与式を行いました。

航空整備き章は、整備士の航空従事者技能証明を有する隊員のうち、装備品等の合否判定及び航空機の飛行継続を判定する資格を有する隊員のみ着用することができます。

航空整備き章を着用し、誇りと責任を胸に任務に邁進してまいります。



日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル2026支援



5月16日(土)及び17日(日)の2日間、小牧基地所属のK/C-130Hは航空機展示のため、横田基地で行われた「日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル2026」に参加しました。

当イベントでは、米空軍所属のF-35A戦闘機をはじめ、航空自衛隊、陸上自衛隊の航空機のほか、民間航空機など多くの航空機が地上展示されました。また、航空機の地上展示に加え、米空軍所属のC-130J輸送機及びCV-22Bオスプレイによる飛行展示や多くの売店の出店があり、イベントは大いに盛り上がりしました。小牧基地所属のC-130Hは機内展示を行い、多くの来場者に対し航空自衛隊への理解を深めることができました。今後も様々なイベント等を通して航空自衛隊及び小牧基地への理解を深めてまいります。



防衛・基地モニター小牧基地研修（第1輸送航空隊 飛行群）

5月20日(水)、防衛・基地モニターによる令和8年度小牧基地研修の第1回を実施しました。今年度最初のモニター研修であることから、はじめに航空自衛隊及び小牧基地の概要説明を行い、その後、第1輸送航空隊飛行群を見学・研修しました。本研修を通じて、航空自衛隊及び小牧基地について理解を深めていただくとともに、輸送機等の運用に係る職種や機能について紹介し、航空輸送及び空中給油業務について詳しく学んでいただきました。

モニターの中には、これまで航空祭などの基地開放行事で小牧基地を何度も訪れたことのある方もいましたが、飛行隊による輸送機の任務に関する詳細な説明や、K/C-130HおよびKC-767の性能についての説明を受け、その能力の高さに大変驚かれていました。特に、普段は見ることのできない航空機の機内やコックピットを見学し、実際に運用に携わる隊員から直接説明を受けることができたため、大変興味深く、印象に残る研修となったようです。

また、航空機の運用を支える各職種において必要なスキルを習得するためには、日々の努力や訓練、現場での指導が欠かせないことについても理解を深めていただきました。各見学場所では、隊員が笑顔で分かりやすく説明し、質問にも丁寧に対応する姿が見られました。その様子から、隊員一人ひとりが自身の職務に誇りと責任感を持って任務に当たっていることを感じていただけたものと思います。本研修を通じて、第1輸送航空隊飛行群の任務の重要性と、その任務を遂行するための努力や苦労について理解を深めていただけたことと思います。今後も第1輸送航空隊各群および基地内の各部隊の研修に参加していただき、小牧基地に対する理解をさらに深めていただければ幸いです。

